

# 無機薬品受入時における 安全確保についてのお願い

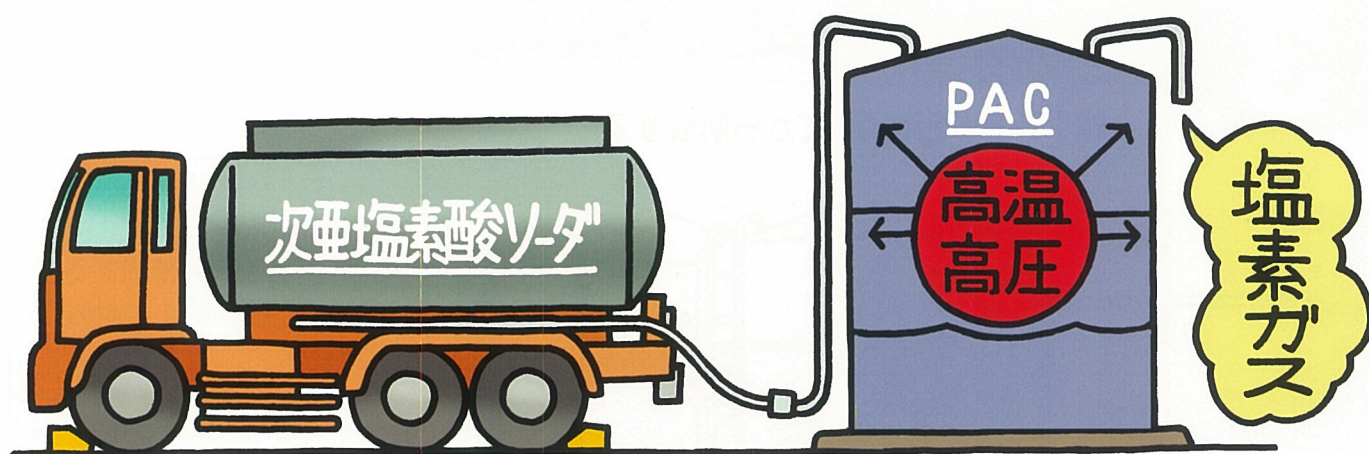
一般に化学物質は取扱いを誤って混ぜると、有毒なガスや物質を発生したり、高温・高圧になるなど、危険な状態になるおそれがあり、取扱いには十分注意する必要があります。

公共施設のプールでポリ塩化アルミニウム (PAC)<sup>\*1</sup> のタンクに次亜塩素酸ソーダ<sup>\*2</sup> を誤って納入し、塩素ガスが発生、近隣住民に影響を及ぼす災害が発生する等、無機薬品の誤納入を原因とする事故が発生しています。

これらの事故は、お客様が製品受入時に納入業者と協力し、品名確認を確実に行う等の簡単な作業を実施することで、未然に防止することができます。

このため、日本ソーダ工業会では、必要最低限実施頂きたい事項を本パンフレットにまとめましたので、ご協力をお願い申し上げます。

※1 凝集剤 ※2 殺菌剤



**日本ソーダ工業会**

Japan Soda Industry Association (JSIA)

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1 (住友六甲ビル8階)

TEL 03(3297)0313 FAX 03(3297)0315

<http://www.jsia.gr.jp>

「日本ソーダ工業会」は、か性ソーダ（水酸化ナトリウム）、塩素、塩酸等の無機薬品を製造する業界の団体で、無機薬品の安全な取扱い等の普及活動及びソーダ工業の健全な発展を図ることを目的に、種々の活動を行っております。



無機薬品受入時の作業においては、  
以下の点を特に留意し、安全確保に努めて下さい。

1

## タンクの受入れフランジへの品名札の表示

液体か性ソーダ  
(水酸化ナトリウム液)  
(NaOH48%)

品名札一例

無機薬品を誤りなく納入するため、品名札を表示して頂くことで、容易に接続口を確認でき、事故防止に極めて有効です。

2

## 受入時の貴社の立会い

■ 受入薬品の品名確認



受入側と納入側で相互に品名を確認することが事故防止に有効です。また、バルブの解錠及び操作は、設備を熟知されている貴社の方に行って頂くことが事故防止に極めて有効です。

3

## 受入バルブへの施錠

■ 「品名」を確認してから解錠する



受入バルブを施錠しておくことは、品名を再度確認することになり、事故防止に極めて有効です。

安全に無機薬品をご利用いただくため、ご協力をお願い申し上げます。